令和元年８月 臨時庁議

１　開催日時　令和元年８月１３日（火）午後４時～午後４時２０分

２　開催場所　本館３階「特別会議室」

３　付議事項（第６条）

⑴ 指示事項（市長の指示、注意等）

なし

⑵　審議事項（市行政運営の基本方針、総合計画、重要議案、主要事業計画等の策定及び調整に関すること）

なし

⑶　報告事項（市政に重大な影響を与える法令等の制定改廃、国及び県の動向、又は重要な事務事業の進行状況に関すること）

なし

４　その他

①　台風 10 号について（市長公室長）

本日午後 2 時に行われた県の説明会の内容について情報共有をお願いする。

（危機管理課長より）

・台風が過ぎ去った後の 8 月 15 日の満潮は多度津港で 23 時 59 分に 185 ㎝の予報であり、台風の影響でさらに 80 ㎝上昇するおそれがある。同日 18 時頃に高潮警報が発令される可能性があり、そうなれば城坤、城乾、城北小学校を避難所として開設しなければいけない状況となる。

・水防体制としては、14 日から 15 日にかけての深夜から、満潮時刻の約 2 時間後の 16 日午前 2 時頃にかけての長丁場となることが予想される。各部総務担当課の副課長、市長があらかじめ指名している職員は、15 日の午前 0 時から午前 6 時頃までに召集の予定である。16 日は通常どおり開庁しており、状況を見ながらローテーションを組むので協力をお願いする。

・暴風・波浪警報が 14 日 18 時から 21 時頃に発令される可能性があるが、通常は暴風・波浪警報のみであれば避難所は開設していない。

・14 日 12 時からの 24 時間降水量は多いところで 100～200 ミリ、15 日 12 時からの 24 時間で 100～300 ミリと予想されており、土砂災害に関する情報が出た場合は、土器、飯野、飯山、綾歌 5 箇所の避難所について、発令基準に則り対応する。飯野はコミュニティセンターを改築中のため、臨時的にこども園を避難所とする。

・島しょ部への派遣職員は、14 日中に渡航してもらい、最長で 16 日の朝までの対応となる。

・潮位の予想数値は、平成 16 年の台風 16 号と比べてどうか。（ボートレース事業局次長）

→275 ㎝なので近い規模が予想される。（危機管理課長）

→防潮壁の高さは、平成 16 年当時よりも改良されている。（市長公室長）

→潮位の関連データは整理して改めて報告する。（都市整備部長）

→明日 14 日の 16 時から再度臨時庁議を開催する。（市長公室長）

5　出席状況

⑴　庁議構成者（第５条）

職	氏　名	出欠
市　　長	梶　　正　治	×
副　市　長	徳　田　善　紀	×
教　育　長	金　丸　眞　明	×
モーターボート競走事業管理者	大　林　　諭	×
市長公室長	横　田　拓　也	○
総務部長	栗　山　佳　子	代
健康福祉部長	宮　本　克　之	○
こども未来部長	石　井　克　範	○
生活環境部長	小　山　隆　史	○
都市整備部長	谷　口　信　夫	○
産業文化部長	山　地　幸　夫	代
ボートレース事業局次長	矢　野　浩　三	○
教育部長	川　田　良　文	代
消　防　長	田　中　道　久	○
議会事務局長	渡　辺　研　介	○

⑵　関係職員（第９条）

市長公室職員課長　　井　上　孝　敏

総務部財務課長　　宮　西　浩　二

総務部長代理

総務部行政管理課長　　村　山　智　彦

産業文化部長代理

産業文化部産業観光課長　　林　　裕　司

教育部長代理

教育部総務課長　　岸　上　直　美

市長公室危機管理課長　　大　野　順　平

(3) 事務局（市長公室秘書政策課）

市長公室秘書政策課長　　窪　田　徹　也

市長公室秘書政策課政策推進担当長　　野　本　政　宏

市長公室秘書政策課主査　　宇　野　大志郎